

交流通信

国内外との交流・多文化共生



甘い蜜がたっぷり!!

友好都市・宮田村で開催『りんごの木オーナー収穫祭』

りんごの木オーナー制度や物産展の相互出展などを通じて交流が続いている長野県上伊那郡宮田村を紹介します。

●収穫祭は人気の恒例行事

11月18日(日)・25日(日)の2日間、田原市の友好都市である宮田村で『りんごの木オーナー収穫祭』が開催されました。宮田村と田原市とで行われている「りんごの木オーナー制度」は平成10年に始まり、今年で15回目となる交流事業。毎年、田原市から多くの市民が収穫に訪れる恒例行事となっています。



▲にぎわう収穫祭の会場

収穫祭当日、セレモニー会場では特産品のりんごジュースや、地元野菜などの販売が行われるほか、大人気の豚汁無料配布に長い行列ができるなど、多くの人で賑わいます。

●真っ赤に実ったりんごを収穫

収穫祭に続いては、お待ちかねのりんご狩りです。

農園に到着すると、真っ赤に実った美味しそうなりんごたちがお出迎え。立派に育ったりんごを一つ一つ大切に収穫します。ちょっと休憩しながら、採れたてのりんごを食べられるのも、りんご狩りの醍醐味。



▲りんごも思い出もいっぱい持ち帰り

もちろん、帰ってからも、しばらくの間はりんごが食べ放題。りんご三昧のぜいたくな毎日をご過ごせます。

りんごの木オーナーの募集については、空きがあれば毎年3月～4月ごろ、広報たはらに募集記事を掲載していますので、ご確認ください。

りんごの木オーナーの募集については、空きがあれば毎年3月～4月ごろ、広報たはらに募集記事を掲載していますので、ご確認ください。

▶政策推進課 ☎23局3507



▲養成講座の様子。コーディネーター(写真左側)がボランティアに来た方々(同右側)を被災地の求める支援活動に振り分けます

◆どうしたらなる?

市では、毎年、養成講座を開催しています。現在までに199人が

◆防災ボランティア

コーディネーターとは

被災地と、そこに集まった多数のボランティアとの間に立ち、被災地支援活動が円滑かつ効果的に進むように調整を行う方です。

こんにちは、けんちゃんです。大規模な災害が発生すると、被災地には、さまざまなボランティアが集まります。今回は、防災ボランティアコーディネーターについてご紹介します。

けんちゃん

防災知恵袋

20

田原市防災ボランティアコーディネーター

みんなで取り組む防災・減災



「田原市防災ボランティアコーディネーター」として認定されています。

◆受講している人は?

ボランティアに興味のある方や自主防災会の推薦を受けた方が受講しています。今後は、高校生などの若い方の受講も検討していきます。

◆有効期間は?

有効期間はありません。身に付けた知識が低下しないよう、認定後もフォローアップ講座(毎年開催)の受講をお薦めしています。

◆次回の講座はいつ?

平成25年2月3日(日)・10日(日)の2日間で開催します。市内在住で、2日間とも受講できる方が対象です。

興味のある方は、防災対策課へお問い合わせください。

▼防災対策課 ☎23局3548

